

敬老会

10月4日(水)、新型コロナ感染予防のため、平成30年以来中止していた敬老会が指崎の民宿「いけもり」で開催されました。余興には、新舞踊やフラダンス、抽選会がありました。参加者は約60名は、料理に舌鼓を打ったり、踊りを鑑賞したりして大満足の様子でした。参加できなかった人には、三笠が配布されました。



阿尾保育園運動会

10月7日(土)、人数制限をなくすなど、5年ぶりの通常通りの開催となりました。参観者は、子どもの成長ぶりに目を細めていました。



阿尾地域自主防災訓練

9月17日(日)、海峰小学校を会場にして阿尾地域自主防災訓練が行われました。

阿尾、指崎、森寺、北八代の4つの地区の住民及び役員・関係者、約150名が集まり、防災訓練が行われました。訓練の内容は、地震体験や消火訓練、簡易ベッド・間仕切り組み立てでした。



***公民館主事の独り言**



関東大震災

9月1日は、全国防災の日であり、全国で防災訓練が行われています。

大正12年9月1日の関東大震災を忘れず防災意識を高めるためでしょう。

この関東大震災では、約10万人が亡くなりました。

当時、日本は中国侵出を巡ってアメリカと緊張関係にありました。しかし、震災から4日後、そのアメリカが救援部隊を送り、被災者の救護にあたりました。その他、世界の30カ国から物資や支援金が寄せられ、支援金は総額1000億円以上になったそうです。

この震災の中、焼失を免れた地域がある。それは、「震災の奇跡」と言われた神田の佐久間町と和泉町です。

近くに神田川があったことが幸いし、住民たちは一致団結して、バケツリレー等をしたからです。



氷見町大火

私たちの氷見でも昭和13年9月6日に大火が起きています。原因は、たばこの火の不始末でした。被害は焼失1,543戸11万1000坪、死者5人、負傷者510人であったといえます。

関東大震災での「震災の奇跡」が太平洋戦争の空襲の際に利用され、避難よりも協力(バケツリレー)が大切であると軍によって奨励されました。そのため、避難が遅れ、多くの人が犠牲になったと言われています。

2011年3月、東日本大震災が起きました。また、その際の津波で22,000人以上の人が死亡・行方不明になりました。この大震災の際にも、「釜石の奇跡」と言って、釜石では死者が一人も出なかったといえます。これは、迅速に避難する中学生の様子を見ていた多くの人が危険を感じ、いち早く避難したからでした。

災害から自分の命を守るには、どうすればいいのでしょうか。

○ 11月の講座案内

講座名	曜日	開設日	講師・責任者	時間	部屋
生け花(池坊)	第1・3水曜日	4日 18日	西山栄津子	10:00~14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	2日 16日	猶明 光華	13:00~	洋室
茶 道	第1・3土曜日	7日 21日	栗山 静子	8:00~	和室
学童茶道&百人一首	原則毎週木曜日	5日 12日 19日 26日	栗山 静子	15:00~	和室
手 芸	第3火曜日	18日	伏木あい子	13:30~	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	7日 14日 21日 28日	大野 朝子	19:00~	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	6日 13日 20日 23日 27日	大野 朝子	13:00~	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	2日 4日 9日 11日 16日 18日 23日 25日 30日		13:30~	和室
フラダンス	第1・3月曜日	2日 16日	東軒みさ子	19:00~	和室
常磐会書道教室	第2・4土曜日	16日 28日	名苗くみ子	10:00~	洋室

○阿尾公民館からのお知らせ

・11月の「ふれあいランチ」は、11月11日です。

○おらっちゃ風土記(山城編)

湯山(森寺)城

※「山城探訪」氷見市立博物館
 ※「北陸の名城を歩く」佐伯哲也編 吉川弘文館

16世紀初頭、七尾城主能登畠山義総氏に築かれていたと推定される。その後、畠山家臣団の内紛時の拠点として利用された。さらに上杉謙信の目標となり、天正初めには謙信の家臣(河田主膳)が配属された。謙信没後は、織田方の神保氏張らによって上杉方が追い払われ、佐々成政の支城となった。

